

# 2015年11月 議会



## 下水道料金値上げに反対しました！

- 市公営企業経営審議会「下水料金のあり方についての答申」を受け下水道料金平均10.24%の引き上げが提案されました。答申には、「下水道事業の公共的な側面や下水道事業の一環として展開されているりん回収事業は、環境政策的な側面を持つことから、財政的な安定を求めるのであれば、事業運営の財源を受益者負担のみに求めるのではなく、一般会計に対し財政負担を求める等の政策的な努力を事業者側も行なうことを求めるものである。」と。
- 答申は料金値上げだけでなく、財政面での一般会計からの支援を、事業管理者へは一般会計に協力を要求する具体的な行動を一体として求めると。しかるに、議案質疑で水道部としての一般会計への要求方針について具体的方針も意思も不明確。「料金値上げ部分」のみ取り上げ、議案提案者に都合の良い解釈を押し通す態度。
- これでは、今後5年間稼働させるりんプラントの赤字を合わせ、レンガプラントから累積赤字は31億円を超え、汚泥処理の政策赤字の結果を市民負担である下水道料金値上げで穴埋めする提案。同時に、公営企業経営審議会答申への真摯な態度とは言いがたく、審議会の存在を揺るがす対応。極めて問題の議案と提案態度。
- 松原のりかずは無所属クラブとして反対しました。自民、公明、市民ク等賛成で、残念ながら下水道料金値上げ決定されました。

## 水道管理者は、その任務を果たせ！

水道企業会計は「独立採算」といわれますが、本来一般会計で負担すべき環境対策費などを企業会計で負担し、赤字を重ねることは、市民負担を重くすると同時に、不健全経営がそこで働く労働者にも悪影響を与えます。

審議会が答申で「一般会計からの応援」を必要と書いています。水道管理者はこの機会に細江市長へ応分の負担を要求すべきです。



松原のりかず

☎058-253-2500

維持費一日5500万円。月1億円の電気代消費する

## 発電しない原発「もんじゅ」廃炉を求めて！

「脱原発を実現し、自然エネルギー中心の社会実現」請願の紹介議員となり、同名の意見書を提案。が、自民、公明、市民クラブ等の反対や本会議場退席で否決。信じがたく、とても残念です。

意見書内容は「さよなら原発」1千万人署名（呼掛け人・大江健三郎、坂本龍一、瀬戸内寂聴などの各氏）と同じ。

## 市労連退職者会の呼掛けた署名 「さよなら原発」一千万人署名 と同じ内容の請願・意見書なのに・・・

「脱原発」が世界の流れです。ドイツでは再生可能エネルギーにかじを取りました。日本でも、国民の多くはその必要性を感じています。自民党は、「原発安全神話」の破綻に気付きながら、方針を変えようとしません。与党・公明党も期待出来ません。では、野党はどうでしょう。岐阜市議会では、多くの国民の賛同をお願いした「さよなら原発一千万人署名」と同じ内容の請願と意見書に賛成できない「野党」所属市議がまだまだ多くいます。

この署名は、岐阜市労連退職者会の運動でも署名活動が呼びかけられました。退職者会と関係のとても深い 富田耕二 議員 が「賛成をせず」、大事な本会議での採決を「退席」という形で「欠席」された事には驚きました。退職者には署名をお願いし、自らは署名趣旨をお願いする請願と意見書に「賛成しない」ことに驚きを禁じえません。



メディアコスモス屋上で水溜りを視察点検。一次補修後も水溜りは未解決。12月9日